

LODEファシリテータ養成支援ツール：項目別取組み目標兼到達度チェックチャート図  
**大目標 = コミュニティの紡ぎ直し（自助力・互助力の強化）**

地区や目的に合わせた図面使用	作業班内における会話促進の工夫をする	要援護者への認識を深めるための学習をする	地域の在宅要介護高齢者情報を収集する	地域の介護予備軍高齢者の情報を収集する	高齢者が避難できる場所の調査・計画を行う	普及者候補にはLODEを他者に伝えてもらう	社協職員はコーディネータ役となる	自分たちでWSの企画と運営を行う
個人情報の管理に留意する	<b>図面WS</b>	コミュニティ力を養うためWSの定例化を図る	地域の在宅要支援高齢者情報を収集する	<b>○</b>	要援護高齢者の自主的申告を促す	説明・説得・行動力のある人材を見つける	<b>育成</b>	講師・ファシリテータ役をしてもらう
凡例は状況に応じて工夫する	要援護者・支援者情報収集	基本単位は単位自治会で行う	基本コミュニティ単位でLODE WSを行う	高齢者への認識・理解を深める学習をする	高齢者参加によるWSや避難訓練を行う	導入LODE予備LODE講習会から始める	普及者育成支援ツールを活用する	人材育成の核となる関係機関参画体制を作る
言葉だけでなく視覚からの伝達を心がける	子ども自身が住所や電話番号を言える	子ども会や学校単位でWSを行う	<b>図面WS</b>	<b>○</b>	<b>育成</b>	避難訓練の定例化を図る	歴史や被災経験から学ぶ	要援護者らの抱える困難を認識・理解させる
WSは体験・共同作業重視で行う	<b>L</b>	大人が子どものことを知るための努力をする	<b>L</b>	<b>コミュニティの紡ぎ直し</b>	<b>E</b>	必要物資を考える・準備する	<b>E</b>	避難行動時のリスクや困難を想像させる
WS班作業は小地区や通学路単位で行う	親や地域の大人を引き込む	様々な子どもが一同に参加する	<b>繋ぎ協働</b>	<b>D</b>	<b>体験</b>	私設避難所のニーズと候補を考える	エトランゼへの対応を考える	避難所生活のリスクや困難を想像させる
世代をつなぐ（大人と子ども）	WSや訓練の場で参加者同士をつなぐ	井戸端サロン型活動をつなぐ	障害者・家族の自主的申告を促す	地域の重度障害者情報を収集する	障害者が避難できる場所の調査・計画を行う	他の世代や外国人との交流を体験してもらう	逃げること（緊急避難行動）を体験してもらう	避難所生活の模擬体験をしてもらう
エリアをつなぐ（小学校区で）	<b>繋ぎ協働</b>	物資備蓄や私設避難所づくりをおしてつなぐ	地域の在宅身障者情報を収集する	<b>D</b>	障害者参加によるWSや避難訓練を行う	みんなの前で発言する体験してもらう	<b>体験</b>	炊出し体験（作る、食べる）をしてもらう
つなぎの軸・核となる体制を作る	要援護者と地域住民をつなぐ	地域の事業者と住民をつなぐ	障害者への認識・理解を深める学習をする	地域の知・精・発各障害者情報を収集する	家族の理解を得られる進め方を工夫する	防災機器等の操作・使用体験をしてもらう	防災グッズなどの共同制作体験をしてもらう	まち歩きによる共同確認作業体験をしてもらう